

# パワースポット ぶんぐいとうげ 分杭峠

日本最大の断層「中央構造線」が縦貫する分杭峠は、杭を分ける峠というように伊那市長谷と下伊那郡大鹿村の境に位置し、「従是北高遠領」と刻まれた石柱が建てられ、現在は郡境になっています。また古くから遠州秋葉神社へ至る秋葉街道の峠の一つでした。



美和湖から分杭峠が見える



従是北高遠領とある石柱

この分杭峠にゼロ磁場があることを発見したのは、中国湖北省蓮花山のゼロ磁場を発見した有名な気功師、張志祥師です。蓮花山のゼロ磁場地帯は「人が幸せになれる場所」ともいわれ、多くの人々が癒しを求めて訪れています。その張志祥氏を日本に招いて、ゼロ磁場を探してもらったところ、蓮花山に匹敵する素晴らしい場所が発見されました。それが分杭峠だったのです。

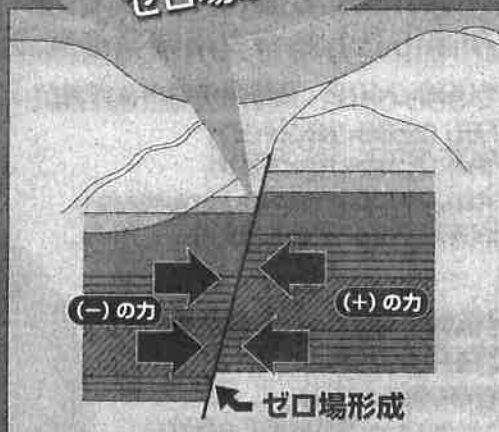
## ゼロ磁場(相殺零場=ゼロ場)とは…

一般には「ゼロ磁場」及び「氣場」と呼ばれていますが、地球表面の断層部の局所には「ゼロ場(相殺零場)」があります。ゼロ磁場には、未知のエネルギーの集積があるといわれています。

東洋医学によると、皮膚にある「ツボ(経穴)」は、生命エネルギー(気)の出入り口であるといわれています。地球の断層部分にも地球内部の未知エネルギーの出入り口があり、これを「ゼロ場(相殺磁場、ゼロ磁場)」と呼んでいます。断層の両側から、(正)方向と(負)方向の力が押し合っ、局部的には零になり、零場が形成されてこの周辺に未知エネルギーが集積されやすいことが判っています。未知エネルギーは力としてのエネルギーやラドン温泉等の低線量放射線エネルギー、原子を構成する素粒子群等のサイ情報構成要素から構成されており、人々の心身を活性化させ、力を与え、元気にしてくれると考えられています。

(日本サイ科学会会長・電気通信大学名誉教授 工学博士 佐々木茂美先生監修)

断層ではお互いに  
押しあう力によって  
ゼロ場ができる



# 気の活用方法

何となく気が進まない。何となくいやだ…という時は、氣場に行かない方が良いでしょう。ポジティブな状況で、強い願い事がある時に、氣場に行くとより強い効果が期待できると思います。吸う、止める、吐くの3段階のゆっくりとした呼吸をして、リラックス集中を心がけて知性や理性を薄めて行き、吐く息に願い事を重ねる。つまり、ゆっくりと息を吐きながら、願い事をする。尚、座りながらの意識集中は、1時間以内にしてください。寒かったり、暑かったりして、どうしても気持ちが幸せになれない時は、中止してください。氣場で零意識（零点）になり、願い事の対象と共鳴や共振した場合には、異常とも思われる現象が起きるかも知れません。「出来る」という思いこみが必要であります。氣長に、あせらずに続ける必要があると思います。

(日本サイ科学会会長・電気通信大学名誉教授 工学博士 佐々木茂美先生監修)



張志祥師が発見した場所のひとつ



氣場への歩道



分杭峠から長谷方面を望む

**氣場は天然の氣を体感する聖地です。**

**汚したり他の人の迷惑になる行為はおやめください。**

※分杭峠周辺の沢水には、大腸菌が混入している恐れがありますので飲料水としては使用しないでください。

## — パノラマ伊那市 —

伊那市観光協会長谷支部  
(伊那市長谷総合支所産業振興課内)  
〒396-0402 長野県伊那市長谷溝口 1394  
TEL 0265-98-3130  
FAX 0265-98-2029  
<http://inashi-kankoukyoukai.jp/>  
E-mail h-san@inacity.jp

分杭峠へはシャトルバスをご利用ください。  
粟沢駐車場(無料) 分杭峠まで 15分  
(峠周辺には駐車場がありませんので) ご注意ください

